

審議された議案

今回の議会では、9つの議案が審議可決されました。また、国に対し意見書を送ることを求める請願が提出可決されました。なお、今回の議案に対し、大橋芳久はすべて賛成をいたしました。

	件名（概略）		件名（概略）
26	税条例の一部を改正	27	国民健康保険税条例の一部を改正
28	消防広域化に関する条例	29	後期高齢者医療広域連合の規約変更
30	平成24年度一般会計補正予算	31	税条例の一部を改正
32	印鑑条例の一部を改正	33	土地開発公社の解散について
34	都市公園条例の一部を改正	請	アスベスト被害に関する意見書の提出

一般会計補正予算では、「灯籠で町づくり」プランとして、東武動物公園駅前通りの商店25か所（予定）に「エコ灯籠」（太陽光発電、LED照明）が設置されることが決定いたしました。また、杉戸高野台駅西口駅前の道路改良工事が今年度当初予定より70m長く工事されることとなりました。工事は、手入れが必要な、くすのきを間引き、道路は維持管理面を考慮アスファルトになる予定です。



改修される杉戸高野台駅前通り

大橋よしひさ後援会発足！

大橋よしひさ後援会が4月1日より発足しました。

会は杉戸市に向けての取り組み、議会報告会、社会科見学、会報の発行などを行い、さらに、会員相互の交流により、親睦を深めることを目的としています。興味のある方は大橋よしひさ後援会（34-7363）までお問い合わせください。

みなさんからいただいた声

「(交差点の) 段差が解消され便利になりました」

「近隣公園の工事について説明してください」

「通学路が痛んでいるので直してください」

「毎度のレポートごくろうさまです」

「税金の仕組みについて教えてください」などです。

皆さまからいただいた声は、担当課に届けています。

今後の予定

第4回報告会開催

ぜひお越しください！

日にち 7月7日(土)

時間 午前10時より

場所 カルスタすぎと

集会室1

杉戸町議会議員

平成24年7月発行

大橋よしひさレポート

第11号



発行元 大橋よしひさ後援会
ところ：杉戸町内田1-2-8 連絡先：0480-34-7363
e-mail：oohashi_in_sugito@yahoo.co.jp

ブログも更新
しています!!

6月議会開催される！

町長提出議案全9件可決！

交通安全に協力を！

今年度に入り、杉戸町では交通事故による死亡者が3名となり、埼玉県知事により5月14日から3か月間、「交通死亡事故防止特別対策地域」に指定され、議会においても、交通安全対策に関する質疑が熱心に行われました。

死亡事故があった現場の道路標識などの刷新、道路状況の整備、交通安全の啓発運動などが行われています。交通安全に町民の皆様のご協力をお願いします。

消防広域化へ向けて！

現在、杉戸町では単独で消防事業が行われていますが、それを3市3町（久喜市、加須市、幸手市、白岡町、宮代町、杉戸町）で共同で行うための体制づくりを行っています。町内には現在はいしご車がありませんが、広域化することによって、久喜市にあるはしご車が応援にくるようになるなどのメリットがあります。訓練、連携の強化、現場での予行演習などを要請し、このことに関連した、第28号議案に賛成をしました。（写真は「カレー料理大会」会場に展示されていた消防車）



大橋よしひさ一般質問

6月議会では、下記4点について一般質問を行いました。主な質疑を記載します。

① 給食用食材の放射線検査について

2週間に一回2品目のみ検査されているがそれで十分と言えるだろうか。

Q 毎日一食検査する自治体があるのに、現在の検査で十分だと考えているのか。

A 近隣市町と一つの測定機を共有して使っているのですがそれ以上今はできません。

Q 安全をより得るために、測定器(県で用意した測定器は340万円相当)を購入する予定はないのか。

A 現在のところありません。

② シルバー人材センターの雇用確保策は

近年の社会情勢を反映するように仕事の受注量が減っているが町としての対策は。

Q シルバーの会員は杉戸町民であり、仕事減のなんらかの対策が必要と考えるが。

A 比較的多くの補助金を出し、さらに町での仕事の一部を発注しています。

Q 今後のシルバーに対する展望、願いは。

A 自立した組織になるよう、財政面の援助などをしていきます。

③ スポーツ施設の利用機会の均等を

サッカー施設に比べて野球、グラウンドゴルフ場が多いと思うが。

Q サッカー場に比べ野球場やグラウンドゴルフ場が多く整備されているが。

A 町としてはすべてのスポーツが平等でできるような整備したいと考えています。

Q 近隣公園の多目的広場の使用の関係で、地元の住民との話し合いの場を。

A いつでもどこでも行います(6月20日に実施)。

④ 震災がれきの受け入れは

一日にも早い被災地の復興復旧のために震災がれきを受け入れる考えはあるのか。

A 杉戸町に最終処分場がなく、最終処分場先より、震災に関する焼却灰の受け入れができない旨、また、それが含まれているときは今後の取引を停止する旨の連絡があったこと、環境センターの焼却炉稼働率が90%以上であり、稼働率を上げるための24時間の運転もできないため現時点では困難です。

活動報告

国会ツアー開催、満員御礼



3月23日(金)、「第一回国会見学ツアー」が開催され、満員の42名が参加しました。国会内の他に本会議の傍聴や、議員会館などを見学。見学中には、小泉進次郎、武部勉、海江田万里、細川律夫等衆議院議員などにも遭遇しました。政治をより身近なものと感じることができたのではないかと思います。

研修・視察

財務分析講座



4月14日、15日と政務調査費を利用して、財務分析講座の研修を受けてきました。「決算カード」を参考にしながら電卓を使った実務的な授業も多く、とても為になる研修となりました。今回は基礎的な研修でしたが、しっかりと復習します。

ゴミ処理最終処分場へ



5月24、25日と実費会費制で、長野県、群馬県に視察へ行きました。杉戸町のゴミ処理の最終処分場(写真)にも行ってきました。杉戸町以外にも約100の自治体を受け入れていて、現施設は約10年で満杯になるそうです。

要望実現

本年度の予算編成時に要望した、カスミストア、内田団地の交差点における段差の解消するための工事が行われ、付近の交通が安全便利になりました。

